



*F u - Z i n*



博多のおとなが未来を背負う博多の子供達に  
託したいものってなんですか？

# 第3号

平成15年4月発行

## 「第9回 NPO博多の風 フォーラム」

- 「第2回祭童子集まれ! 楽文コンテスト」表彰式
- 「第2回クリーン作戦」報告
- 「第10回NPO博多の風フォーラム」開催決定
- 「第2回探訪!!博多祇園山笠 追山コース」決定

# 第9回NPO博多の風フォーラム開催!!

去る平成14年11月10日(日)に博多部の明治生命ホールへ会場を移して「第9回 NPO博多の風フォーラム」が開催されました。

フォーラム第一部では、昨年に引き続き好評で、6月から募集をしました「第2回祭童子集まれ!楽文コンテスト」の優秀作品の表彰式を行いました。今回は地域の小中学校にもご賛同をいただき、応募総数も前回を上回る約800通の作品が寄せられ、審査の方も熱が入り難攻しました。

「博多祇園山笠振興会会長賞」「毎日新聞西部本社福岡総局長賞」「シティ情報ふくおか賞」



「NPO博多の風理事長賞」の表彰式及び受賞作品の発表を行いました。

表彰式後、昨年引き続きまして博多祇園山笠振興会会長である後藤久義氏より総評を頂きました。先人たちが作り上げてきた761年もの歴史を踏襲し子供たちに伝えていこうと日々考えておられる上で、「祭りを通じて博多が一つとなる。大人も子供も一緒になれるというのは祭りではないでしょうか。単なる祭りという訳ではなく、その祭りには町があり、人があり、その人の心があり、祭りを作っている。」「子供たちに夢を持たせたい。夢を持って伝統・文化を継承して頂きたい。」と祭りの大切さ、良さを述べられ、又、学校教育における5日制を取上げ、「地域で一体となり教育の面にも取組んでいかなければならない。祭りというのは大人も子供も一体となって話せる。輪が出



来る。大人との接点を得ることで様々な面での成長がある。」と子供に対する想いを述べられました。(山口 覚弘)

平成14年11月12日「毎日新聞朝刊」に掲載されました

## 高橋慶彦氏 自らの体験踏まえ「博多よもやま噺」



「子供は親の鏡。良い子供は良い大人がいるところに着く。」  
博多のまちをたどり、若少年の健全育成の担い手「NPO博多の風」を創設した高橋慶彦氏。博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。

博多のまちをたどり、若少年の健全育成の担い手「NPO博多の風」を創設した高橋慶彦氏。博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。

博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。博多の風(大塚原)の事務所を訪ね、高橋氏の講演を聞いた。

## 第10回NPO博多の風フォーラム 開催決定

■開催日時 平成15年4月20日(日)  
開場 12:30/開演 13:00  
■開催場所 明治生命ホール(福岡市博多区中洲5-6-20)

- 第一部 「NPO博多の風」事務局だより
  - 今後の活動の予定
  - ビデオ放映『おっしょい!! 地域の教育力』
- 第二部 講演
  - 講師: 永守良孝氏 (RKB毎日放送株式会社 取締役報道局長兼解説委員長)
  - 演題: 人と人 ~おとなとこどものふれあい~

ぜひ、知人・友人の方をお誘い合わせの上、お気軽に起こし下さい!!

# 高橋慶彦的博多よもやま噺 ばなし

第2部では、プロ野球評論家の高橋慶彦氏を講師に迎え、「高橋慶彦的博多よもやま噺（ばなし）」と題した講演をいただきました。

「僕は北海道で生まれ、東京・広島・大阪と日本列島を下ってきましたが、博多が一番住みやすい街ですね」

7年前に福岡ダイエーホークスのコーチに就任して以来、博多に移り住まれた高橋慶彦さんは博多の街を絶賛。現在恵比須流下堅町より山笠に出ていらっしゃいます。また、週に一度少年野球教室を行うなど、子供の育成にも力を注がれています。

「いろんな地域に行きますが、子供たちの顔がみんな違うのは接している大人が違うからなんです。子供は自分の鏡。子供が悪いことをしたら、自分が悪いこ



とをしてみると思ってください。そういう意味では博多はいいですね。大人になっても山笠などでいい緊張感があります。これからは博多に骨をうずめたいと思っています」

プロ野球選手時代、そしてコーチ時代を経て、現在の高橋さんの立場から見ると、指導者のあるべき姿が、山笠と照合したカタチで語り始められました。華やかに見えるプロの世界も球団や実力の差で年収は大幅に違い、当時高卒でプロになった高橋さんは月数万円での生活だったそうです。

「お金はないけど時間があると、マイナスをプラスに変えて考えました。5時間の全体練習以外に、毎日5〜6時間素振りをして、漠然とした365日ではなく、目標を持って365日毎日同じ事をしたんです。誰だってこれができるから天才です」

ただ努力することができる天才」と高橋さんはご自分をそう語られました。これは努力して結果を残した人へのみ与えられる自信です。高橋さんか



▲理事長と沢田幸二氏を交えて、3人の絶妙なトークバトルで会場を魅了

らは、その自信が伺えます。「練習は3日やって1日休むのがベストなんです。体ではなく、心と頭が疲れます。僕は自分がやってきたからわかりますが、それをわからずに選手をダメにしてしまう人もいます。選手がどんなに練習をしても、全ては指導者で決まりますね」

選手を指導する立場となった高橋さんにとって、やはり現役時代の経験は大きいのでしよう。人生とは出会い。だと講演中も何度も繰り返して口にされています。それは、高橋さん自身もひとり努力して結果を残したのではなく、はっきりとした方向性を見いだしてくれた監督

督やライバルたちとの出会いがあったから言えることなのです。コーチ時代、盗塁を狙えばこそアウトになる数も多い選手に対し、「全部走れ。俺が責任はとる」高橋さんは、逃げ道をつくってあげる。指導法で、選手の方向性を見いだし、その年の盗塁王へと導いたそうです。

「大人でも指導者が違うだけで変わります。だとすれば、子供はどう変わるか・・・」

大人の縦社会が、居心地のいい緊張感を生み出していると山笠に魅了されて3年。高橋さんは45歳になった現在でも、若手として雑用をこなしています。「博多の街にはいい大人がいるか



▲高橋氏が繰り返すプロ野球秘話と山笠の話に語に会場は笑いと感動に包まれた

ら、いい子供が育つんです」高橋さんが考える「指導者としての姿」が、博多の街にはごく自然に存在しています。これは山笠を通じて、親から子へ子から孫へと愛情をもって接してきた結果なのではないでしょうか。

博多の街・人・山笠との出会いが、これからは高橋さんを引き動かしていくのでしょうか。高橋さんは次の言葉で締めくくられました。

「今日の出会いを大切にしてください」  
(赤星 博康)

# 第2回クリーン作戦開催

去る平成14年11月17日、日曜日、爽やかな秋晴れの空の下、午前8時30分に冷泉公園南角へ集合して「第2回クリーン作戦」を実施しました。今回は、NTTグループ福岡ラグビー部のご家族の皆さんをはじめ、三十数名にも登る一般参加の方々のご協力もあり、前回よりも清掃区域を広げ、古き良き博多の町並みが今なお残る東町筋や、博多の町のメインストリートである大博通りまでも清掃活動を実施しました。

約4時間の清掃後、落ち葉を中心にタバコの吸殻や空き缶など集まったゴミは約150袋ありました。14年11月に発行した「NPO博多の風」広報誌「風人第2号」を見て開催を知り、福岡市東区から参加して頂いた女性からも、「ふだんからタバコのポイ捨てが気になっていました。今日は皆さんと一緒に清掃が出来、気持ち良かったです」と嬉しいコメントを頂きました。  
(中山 肇)



## ～世話人より一言～

「よっしゃ！人間どろの行いが肝心たい！」と空を見上げて独り言をいった11月17日早朝。絶好の秋晴れの下、「第2回クリーン作戦」を多数の幹事、賛助会員の方にご参加頂き、実施いたしました。今回は「路上を中心にとこまで清掃範囲を拡大できるか。」がテーマでした。ところがどっこい、立ちふさがりしましたよ。強敵が。寄せては返す黄金色の波…そう、落ち葉の山です。掃き取るのはしから風が落ち葉を撒き散らしてくれる為、辛抱強い幹事のO氏をして「一旦掃除したところは振り返っちゃいかんね。」とつぶやかせる始末。しかし最後にはご参加の皆さんのおかげで路上は見違えるようにきれいになったことは言うまでもありません。お疲れ様でした。そしてありがとうございました。ございました。

クリーン作戦

事業運営部会

世話人…村岡昌哉

## がんばれ！冷泉ファイターズ



「ファイター、ファイター！」。火曜日の夕方、旧冷泉小学校の校庭に響く子どもたちの掛け声は、創設から20年はたつという名門!?少年野球チーム「冷泉ファイターズ」の練習だ。週3回の練習と土曜・日曜を使って年間およそ100試合という、なかなかタフな活動を行なう子どもたちだが、その表情はすこぶる明るい。練習に顔を出すと「こんにちわー！」と大きな声で挨拶してくれるし、失敗しても気にしないで何度もチャレンジしてる。そんなチームを見守る吉田和文監督(44歳)も

「この町にはヤマもあるし、子どもたちにたくましくなっしてほしいですからね。子どもたちでもやれるんだというのを伝えられれば」と奮闘中。「キャッチボールもできなかつた子たちが、どんどん上手くなっていくのは嬉しいです



よ」と素直な笑顔を見せてくれた。その数、およそ30人。博多小や千代小、堅粕小の子どもたちで集まったこのチームの目標はスバリ、県大会での優勝だ。お盆休みも練習するがヤマのときはきつぱりお休みという、まさにヤマの町の少年野球チーム。「NPO博多の風」も陰ながら応援しています。  
(鳥越 勢)

# 「俺たちの山笠」

●山笠は、ものすごく奥が深い。難しか。自分は、まだまだどの役にもたつとらん。ばってん、山笠は自分にとってかけがえのないものだ。  
 〈大乘寺前町 百田取作〉

●終わりの無い何かにむかって。山笠、仲間、博多の町。いや、それだけじゃないはずだ。  
 〈大乘寺前町 染矢 純二〉

●山笠があるけん博多には、昔ながらの良かところがいっぱいある。そんな博多の町、山笠が大好きだ。  
 〈下土居町 松本 龍司〉

●苦しい時、気持ちが落ち込んだ時、仕事で気合を入れる時の中で何時も「オッショイ！」と叫んでいる。山笠は人生の糧  
 〈大乘寺前町 具島 政幸〉



●山笠が無うなると思った十才の時の思いを持ち続けて今迄も、これからも仲間と町と山笠を大切に生きて行きたい  
 〈下土居町 大庭信雄〉

●山笠、仲間、博多の町。どれをとっても自分は大好きだ。  
 〈大乘寺前町 木幡 吉孝〉

●老若男女・博多の民衆のエネルギーの結晶が「山笠」であり、民衆の「生」の原点がここに存在します。地域行事である山笠をこれからも存続させていくために「博多の風」と共に、これからの十年に向けた組織づくりにお役に立てるように精進していきます。  
 〈片土居町 原口 昭〉

●私にとって山笠とは子供の時は、ラムネが飲めて、お菓子がもらえて大好きだった。  
 今は、山笠を昇き終わった後のビールが最高だ。山笠は、人と交わり、人材育成、リーダーシップ等を教えてくれる。山笠とともに育ってきたので、これからもずっと山笠を昇きたい。  
 〈下土居町 野田輝幸〉

●片土居町で生まれ、父の後姿を見て育った自分。私なりに峠で山笠をおぼえてきた。これからは、次の世代を育てる事が使命だと思っております。皆様のおかげでやれた当番町（父の総務）の時の感動は今でも忘れません。  
 〈片土居町 粟田口 欣壮〉

●毎年、伝統ある博多祇園山笠に参加でき、非常にありがたいと思っています。  
 〈中土居町 桜井 伸平〉

●山笠があるから町があり、町があるから山笠がある。この町に生まれ育ち、これからもここに住み続けたい。その勇氣と元気をくれるのが山笠である。  
 〈川口町 森 厚〉

●自分にとって山笠は言葉に表せられないけど、もし言葉で言うならば大好きで大好きでたまらないという事。  
 〈上新川端町 渡邊 康〉

●山笠に出ていなければ今の自分はいない。  
 たくさん仲間との出会い。一緒に過ごす時間。追山のあと、共に流す涙。この仲間達と一生山笠を続けていきたい。  
 〈下土居町 緒方 照基〉



●山笠は自分にとって精神安定剤。どんな辛い時も、そこには必ず仲間がいるから。  
 〈大乘寺前町 待水 光幸〉

●人生の苦楽を共にする仲間と自分達を育ててくれた山笠をいつまでも見守っていける男になりたい。  
 〈大乘寺前町 早田 功〉

●むつかしかことはなーも考えとらん。山笠も好いとうばってん、何かなし町内の良か人間たちと一緒にいるだけでいいと思うとる。  
 〈下土居町 中村 俊一〉

『山笠の風』(プランニング秀巧社発行)から引用



# 来風 人々

## 幹事紹介 因幡敏幸



氏名：因幡敏幸（いなばとしゆき）  
年齢：52歳  
職業：消防職員  
所属部会：広報部会

昭和30年代初め、幼稚園から小学校1年生までを下堅町（現在の下呉服町）で過ごし近所の子供たちと同様にどんたく、山笠に参加していました。山笠の時には「先走り」として走り回っていました。その後、父親の仕事の関係で引越しを重ねて、小学校を卒業する時には、引越しが12回を数えるまでになりました。

高校を卒業してそのまま消防の道へ入りましたが、34歳の時に一念発起して大学を受験しました。ちよつとした冒険のつもりで受けた大学でしたが、努力のいかにもあって某私立大学の英文科に合格することができました。その当時の消防の勤務は24時間働いて24時間休みという形でしたので、授業の多い1年2年の時は苦勞しました。入学式の時に新入生のサーク

ル勧誘が行われていて「単位の取り方を教えてやる」という台詞に誘われてラグビー部に入部しました。大学になって始めたラグビーでしたが、学校の授業にでるのが精一杯で、年休を使いながらどうにか練習にだけは参加できました。39歳の時に、大学院を辞めて以来ラグビーとも遠ざかっていましたが、45歳の時に、再び大学のラグビー部の門を叩きました。その後、ひよんな事から、同ラグビー部の監督を引き受ける事になり現在は21人の部員達とがんばっています。私はラグビーが好きで関わっています。ラグビーが大好きでラグビーの詳しい事はわかりませんが、戦術なども教えてあげることにはできません。しかし私のいろんな人との出会いの中で作られた自分の大人としての生き様を見て、何かを学ぼうとしている部員達がいいます。「よい

社会人として世の中へ出そう」というのが監督の使命だと思っております。

引越しを数えるうちに、山笠との縁が切れていきましたが45歳の時に知り合った方が、たまたま今でも下堅町から山笠へ出ている方でして、その人の「是非もう一度でませんか？」という誘いもあって、再び山笠と接する事になりました。

小学校以来ですから、約40年ぶりに山笠に出て感激しました。私は後押しとして参加して「入れ！入れ！」と周りの役員の声に何度も何度も山に入りました。

その頃既に消防士として25年のキャリアを持っていましたが、レンジャー訓練よりもキツク思えました。山を昇き終わった後に直会の時のビールが飲めずに水道の蛇口をひねって、ガブガブと水を飲みました。その時飲んだ水は、小学校の時（40年前）に飲んだ水と同じ味がしました。山笠が終わった後に見上げた空の光も同じ夏色でした。その瞬間を感じた時から一気に山笠にのめりこんでいきました。

NPO博多の風や山笠の人と接していくうちに、普段我々（一般の人として）が見ることができない山笠とは、氷山の一角に過ぎない事を知ることになります。どれだけの男が時間をとって一年中山笠の為に動いているか。それだけの気持ちはあるから、あの1週間が輝いているわ

けで、800年近くも続いている原動力だと思えます。単なる祭りではなく、生活そのものですよ山笠は。7月を中心に1年がはじまり、1年が終わっていく感じがします。

山笠の世界は今の企業教育などにも使えると思えます。組織の中でトップは何をするべきか、それを受けて、ナンバー2は何をするべきか。それを考えて動いて組織を運営します。総代から若手まで、上から下への一つの組織です。まさに社会の縮図がそこにあります。学校は横のつながりしかありませんが、山笠は横だけでなく、上下のつながりも生まれます。

本当に縁というものは分からないもので、30年、40年ほど離れていたのに、不思議なものです。山笠に戻って本当によかったです。仕事には終わりがあっても、山笠には終わりがありません。気持ちには無限に繋がっていきまます。人間の幸せはどれだけの喜びを知ったかで決まるといいますが、そのような喜びを知ることができて、私は本当に幸せです。

### 後輩に対するメッセージ

組織を活性化させるには、職員教育しかないと思っています。それをやるためには自分が3倍も4倍も勉強しなければなりません。子供は大人のうそを見抜く。正々堂々といこうと

思います。金ではなく、ハート。心が一番大事です。あの夏の7日間、人は何を大事にしなければいけないかを気付かせてくれる。粹な心で、何かをやっているのようになる。人として、基本の基本に戻った時に何がかっこいいかわかると思っています。

私の最終学歴は「山笠」です。

### 『第3回 NPO博多の風 クリーン作戦』のお知らせ

昨年5月に第1回、同11月に第2回を開催しましたクリーン作戦を次回は5月18日に開催します。NPO博多の風のメンバーと一緒に博多の街を美しくしましょう。お友達等をお誘い合わせの上、ご協力よろしくお願ひします。

■平成15年5月18日（日）8：30集合（11：30解散予定）

■集合場所：冷泉公園（南側の角）

## 『第2回コース探訪』開催決定

平成15年6月1日(日)

昨年6月に好評の中、開催いたしました「探訪!!博多 祇園山笠追山コース」を今年も6月1日に開催します。今回は前回よりも参加者を多く募集する予定です。新聞やチラシなどで募集方法などをお知らせします。多くの方のご参加をお待ちしております。  
法被を着たおいしやんと山笠コースを歩きませんか？



### NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

●お問合せは「NPO博多の風」  
事務局(担当・福田)

TEL: 090-1349-5982

FAX: 092-263-7188

### NPO博多の風ホームページ URL 変更のお知らせ

<http://hakatanokaze.jp>

NPO博多の風が独自ドメインを取得しました。それに合わせてホームページをリニューアルします。活動報告はもちろん、幹事紹介なども更新していきます。

●ご意見・ご感想をお待ちしています

### ～編集後記～

第9回NPO博多の風フォーラムでの高橋慶彦さんの講演や風人來人で紹介した幹事・因幡さんのお話の中で、やはり「人との出会い」は素晴らしいものだということに改めて気付かされました。「いろんな人との出会いの中で、いろんなきっかけがあって、今の自分は作られているんだよねあ」そんな事を考えました。

これからもNPO博多の風広報誌「風人」ではNPO博多風の様々な活動はもちろん、そこに関わっている人たちをもっと紹介していきたいと思っています。そして広報誌の制作活動を通じて、私自身も博多の街・人との出会いを大切にしていきたいと思えます。

「NPO博多の風」

広報部 中山肇

## NPO博多の風のおゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本龍氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 真氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 『山笠の風』出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長） 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
同年4月	『博多の風ホームページ』開設
同年5月	第1回 クリーン作戦開催
同年6月	「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
同年11月	第2回 クリーン作戦開催

### NPO博多の風事業概要

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動  
「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集まれ！楽分コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

NPO特定非営利活動法人

# 博多の風

〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

TEL&FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@juno.ocn.ne.jp

URL <http://hakanokaze.jp>

題字：新井光守

